



平成24年3月21日

社団法人 日本透析医学会  
理事長 秋澤 忠男 先生

東京都文京区後楽2-1-11  
公益財団法人 日本腎臓財団  
理事長 酒井 紀



東日本大震災 透析医療復興支援について

拝啓 早春の候ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当財団の活動につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今回の震災により被災された透析医療復興支援金募集に際しましては、多大なご寄付を賜り誠にありがとうございました。いただきましたご寄付は、857件 総額 47,370,421 に達しました。皆様のご支援、ご協力に対し、改めて心から感謝申し上げます。

本寄付金の使途・配分に関しましては、被災地域三県より使途希望をご提出いただき、それをもとに貴団体様他協力団体、被災地域三県の代表者様、及び当財団で協議を重ね、関連業者様にもご協力をいただきました結果、この度、下記のように決定させていただきました。

なお、いただきました寄付金は全額支援金へ使用し、全ての事務経費は当財団にて負担させていただきました事を申し添えます。

- 岩手県
- ・ 県内透析施設における情報連絡網のためのアマチュア無線の配備
  - ・ 家庭用血圧計の配布
  - ・ 『災害時のこころのケア』（書籍）を各施設に配布 11,768,455 円
- 宮城県
- ・ 透析医療情報共有化のための連携 I T システムの構築
  - ・ 家庭用血圧計の配布
  - ・ 『災害時のこころのケア』（書籍）を各施設に配布 8,425,976 円
- 福島県
- ・ 県内透析施設における通信手段統一化のための衛星電話と MCA 無線の配備
  - ・ 透析医療情報共有化のための連携 I T システムの構築
  - ・ 家庭用血圧計の配布
  - ・ 『災害時のこころのケア』（書籍）を各施設に配布 27,175,990 円

今後、情報連絡網・通信手段及び情報連携 I T システムの構築は、各県の代表者様のもとで実施されることとなります。また家庭用血圧計と『災害時のこころのケア』（書籍）は各透析施設へ逐次お届け致します。

大変遅くなり恐縮でございますが、ここにご報告申し上げます。

ご協力、誠にありがとうございました。

敬 具

